

議案第28号

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定したいので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和37年法律第88号）第3条第1項の規定により、議会の議決を求める。

令和6年2月20日提出

庄原市長 木 山 耕 三

辺地に係る公共的施設の総合整備計画書
(別 紙)

(提案理由)

辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定しようとするものである。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画書

(案)

- 1 三坂辺地 (庄原市西城町)
(計画期間：令和 6 年度 1 年間)
- 2 小奴可辺地 (庄原市東城町)
(計画期間：令和 6 年度～令和 10 年度 5 年間)
- 3 八幡辺地 (庄原市東城町)
(計画期間：令和 6 年度～令和 10 年度 5 年間)
- 4 下高辺地 (庄原市高野町)
(計画期間：令和 6 年度～令和 10 年度 5 年間)
- 5 永原辺地 (庄原市比和町)
(計画期間：令和 6 年度～令和 10 年度 5 年間)

令和 6 年 2 月
広島県庄原市

総合整備計画書

広島県庄原市西城町 三坂辺地
(辺地の人口 116 人、面積 17.8 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市西城町三坂

(2) 辺地の中心の位置

庄原市西城町三坂 5177 番地 17

(3) 辺地度点数

199 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 33 km に位置しており、北は鳥取県に接し、急峻な山間の地形に集落が点在する地域である。

西城三坂地域は消防水利が不足する地域であり、地元住民の安全と安心を確保するとともに、消防活動の拠点となる施設を適切に維持・管理することで、本市の防災体制の強化につなげる必要がある。

また、道後山高原合宿センターは、研修、レクリエーション、スポーツ交流等、生涯学習活動を推進する役割を担っており、道後山高原クロカンパーク利用者や登山者の宿泊施設として活用されている。

一方、当該施設にはエアコン設備が整っておらず、更なる活用を推進、利用者の安全を確保するため、エアコン設備を整備する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度の 1 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
消防施設 (防火水槽)	庄原市	12,855	2,743	10,112	10,100
観光レクリエーション施設（道後山高原合宿センター）	庄原市	28,377	—	28,377	28,300
合 計		41,232	2,743	38,489	38,400

総合整備計画書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 972 人、面積 86.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町小奴可 2658 番地 3

(3) 辺地度点数

167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 km に位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m 以上に集落が点在する山間の農村地域である。

本市道は、小奴可辺地内の笑田地区と国道 314 号線を連絡する道路であり、地域住民の生活を支える重要な生活路線である。

しかし、一級河川成羽川に沿う本市道は、狭隘で屈曲部が多いため、車両の離合に支障があり、特に冬季は積雪も多く通行困難となる状況である。

また、法面からの落石も多く、緊急時における車両の通行が妨げられる危険性も高いことから、市民生活の向上、利便性・安全を確保するため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道笑田線)	庄原市	92,200	—	92,200	92,200
合	計	92,200	—	92,200	92,200

総合整備計画書

広島県庄原市東城町 八幡辺地
(辺地の人口 631 人、面積 45.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町保田、川鳥、森、田黒、菅

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町森 2354 番地 2

(3) 辺地度点数

197 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から東へ約 49 k mに位置し、標高 1,009mの飯山山麓に広がる平坦地に乏しい農村地帯であり、過疎化の進行により地域活力の停滞が顕著となっている。

道路網については、国道 314 号線が住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、接続する市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道川除線)	庄原市	65,100	—	65,100	65,100
合	計	65,100	—	65,100	65,100

総合整備計画書

広島県庄原市高野町 下高辺地
(辺地の人口 418 人、面積 66.5 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市高野町奥門田、岡大内、下門田、上里原、高暮

(2) 辺地の中心の位置

庄原市高野町下門田 5059 番地 106

(3) 辺地度点数

117 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北西へ約 35km に位置し、西は島根県に接している。標高が高く、冬季は積雪が多い地域であるが、寒冷な気候を利用した農作物の生産が盛んである。

本市道は、岡大内地区の集落を結ぶ基幹路線であり、主要地方道三次高野線へ繋がる唯一の路線であることから、通勤・通学路としても利用されている。

しかし、幅員が狭隘であり、屈曲部も多く、特に冬季には積雪もあることから、車両の離合にも支障をきたしており、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施設名	区分	事業主体	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道大内線)		庄原市	100,000	—	100,000
合	計		100,000	—	100,000

総合整備計画書

広島県庄原市比和町 永原辺地
(辺地の人口 79 人、面積 7.2 km²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市比和町森脇

(2) 辺地の中心の位置

庄原市比和町森脇 312 番地 3

(3) 辺地度点数

119 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北へ約 23 km に位置しており、国道 432 号線に沿って形成されている集落である。

本市道は、国道 432 号線へ接続する生活道路であり、通勤通学にも利用される地域の重要な路線であるが、道路幅員が狭小でバスなどの離合が困難な状況となっている。

また冬季には積雪もあることから、車両の通行に支障をきたしており、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道朝宮線)	庄原市	102,500	—	102,500	102,500
合	計	102,500	—	102,500	102,500